兵庫県立歴史博物館

(甲南大学 博物館実習生)

実習館について

特別史跡・姫路城跡内の北東の位置に昭和58年4月に開館。

好古園、姫路市立美術館、姫路市立動物園、姫路文学館などの文化施設が 集まるエリアにある。

ティーラウンジのガラス面には天守の美しい姿が映るなど、随所に姫路城を モチーフにした設計がなされており、記念撮影のポイントとしても人気。

実習内容

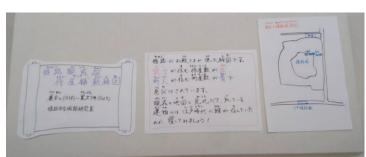
実習期間 令和3年8月3日(火)~7日(土)

	午前		午後			
1日目	受付・開始式	博物館概要・館内案内	博物館と自然災害		写真機材の取り扱い	
2日目	展示実習①	学芸員の発想とスキル	館長講話	博学連携について		意見交換
3日目	民俗資料の取り扱い		美術資料の取り扱い①		美術資料の取り扱い②	
4日目	歴史資料の取り扱い	仏像の取り扱い	施設見学実習(姫路市立美術		美術館)	展示実習②
5日目	展示実習③	展覧会の実務	工芸資料の取り扱い 意		意見交換	

展示実習:実習生が資料1件を選び、全体の展覧会を想像しながら展示を作成、発表する。



作成した展示



作成したキャプション



展示実習の様子

選んだ資料

姫路御城廻侍屋鋪新絵図

ターゲット

夏休みの小学生

気を付けた点

- ・小学生の身長に合わせ、 展示物を低く設置する
- キャプションの文字数を 減らし、子どもでも理解 できる平易な文で書く
- ・文字を大きくし、ルビを ふる

• 感想

バックヤードの見学は、普段見ることのできない場所なので興味深かった。温湿度や虫害対策などに気を配って、資料が管理・保存されていることがわかった。資料の取り扱い実習では、陶磁器の梱包など学内の講義では扱わなかった資料について学ぶことができた。

5日間の実習を通して展示についての理解が深まり、最終日の展示実習では無事一つの展示をつくり上げることができた。実際の展示ケースに展示することで、イメージと異なる部分の発見もあった。パネルの配置や解説の工夫など、ほかの実習生の展示もよい参考になった。普段聞けない学芸員の方のお話を聞くこともでき、博物館の裏側を体験できる大変貴重な機会となった。